

科目名	ソーシャルワーク演習Ⅱ					単位	2
担当教員	伊東 真理子						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	2431

●授業のテーマ

ソーシャルワークの支援技術について体験的に学習する

●到達目標

- ・専門的援助技術を理論化し、体系立てていくことができる能力を身につける
- ・具体的な相談援助場面及び相談援助の過程を想定した実技を身につける。

●学習内容(授業概要)

〔授業の目的・ねらい〕

相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として理論的に体系立てて理解したり説明できる能力を涵養する。

〔授業全体の内容の概要〕

具体的な援助場面を想定した実技指導(ロールプレイング等)や体験学習を中心とした演習形態により、個別指導並びに集団指導を通して、ソーシャルワークの基礎的な支援技術を学ぶ。

●学習内容(授業計画)

≪後期≫

1. 視聴覚教材から学ぶ1 (事実認識と認知の変化)
2. 視聴覚教材から学ぶ2 (グループでの話し合い)
3. 教育支援ツールの活用
アセスメント結果をふまえて、利用者理解の個人差について話し合う
4. 支援のターゲット
ソーシャルワークの支援の焦点についてグループで話し合う
5. 実技指導1
(実技指導についてのオリエンテーション)
6. 実技指導2
(社会的排除などの相談事例を用いた学習)
7. 実技指導3
(家庭内暴力などの相談事例を用いた学習)
8. 実技指導4
(経済的困難などの相談事例を用いた学習)
9. 実技指導5
(インテーク、アセスメント、プランニング)
10. 実技指導6
(インターベンション(支援の実施)、モニタリング、効果測定、終結とアフターケア)
11. 実技指導7
(ソリューション・フォーカスト・アプローチ)
12. 実技指導8
(行動アプローチ)
13. 実技指導9

(アウトリーチ、チームアプローチ、ネットワーキング)

14. 実技指導 10

(社会資源の活用、調整、開発)

15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習 テキスト等で、講義内容の下調べをし、よくわからないところを確認しておくこと。

事後学習 講義で提示した課題についてレポートにまとめること。

●成績評価方法・基準

レポート（随時）（30%）、平常点（30%）、授業に臨む姿勢（40%）で評価する。

●テキスト（必携）

ソーシャルワーク演習教材開発研究会『ソーシャルワーク演習 【第2

版】』みらい（渡邊先生・伊東先生・大橋先生・平澤先生・鶴田先生・武藤先生・倉持先生使用分）

●参考文献／その他

授業時に指示する。

●履修上の注意

内容が、基礎的なものから順番に組み立てられているので、やむをえず欠席する場合は、クラスメートにその回の内容、次回の授業までにやっておくべき課題について必ず確認しておくこと。